

## 【中村中学校区課題改善カリキュラム（家庭科）】

## 課題および改善の視点

## 知識・技能に関する指導の系統性

- ・家庭科を学習する小学5年生から中学3年生の5年間を見通して、小中それぞれの教員がお互いの学習内容や目指すべき姿などを理解し、相互に連携を図ることができる課題改善カリキュラムとして、知識・技能に関する指導の系統性をもたせることとした。
- ・どの段階でどのような知識・技能が身に付いていけばよいか、何を身に付けさせるのかを一覧表にまとめ、それぞれの見通しをもたせた指導に生かしたい。
- ・教室環境や取組に使用する道具などの細かな違いはあっても、実習等の活動、準備・片付けに関する基本的なシステムをできる範囲で統一を図ることができれば、児童・生徒の1単位あたりの活動時間の確保や中1ギャップのような戸惑いや不安感を少しでも軽減することにつながるのではないかと考える。

## 平成30年度現在の年間指導計画をもとにした指導内容

(○：全員取り扱う △：個人で選択して取り扱う ●：小学校での復習やその応用)

内容	中村	中西	中村	中西	中1	中2	中3
	小5	小5	小6	小6			
つながりを深めるお菓子づくり							
幼児の食生活の特徴と幼児のためのお菓子づくり						○	
調理室・被服室の使い方	○	○			○		
衛生と安全、動きやすさを考えた身じたく	○	○	○	○	●	●	●
ガスコンロの安全な使い方、点火、消火、炎の調節	○	○	○	○	●	●	●
湯を沸かしてお茶を入れる	○	○					
計量カップで計量する	○	○	○				
計量スプーン（大・小）で計量する	○	○	○	○	●	●	●
上皿自動ばかりで計量する	○	○	○				
包丁・まな板の取り扱い方、安全管理、持ち運び方	○	○	○	○	●	●	●
包丁を使った切り方	○	○	○	○			
ゆでる調理	○	○	△	△	●		●
煮る調理					○		
焼く調理					○		
炒める調理			○	○	○		
蒸す調理					○	○	
野菜の洗い方	○	○	○	○	●		
ソース作り	○	○	○				
輪切り	○		○	○	●		
小口切り	○	○	○		○		
うす切り				○			
ななめ薄切り					●		

半月切り	○	○	○		●		
いちょう切り	○	○	○		●		
くし形切り	○		○		●		
たんざく切り	○	○	○	○	○		
ひょうし木切り					○		
せん切り	○		○	○	●		
さいの目切り	○		○		●		
みじん切り					●		
乱切り	○		○		○		
ささがき	○		○		○		
皮むき	○	○	○	○	●		
盛りつけと配膳	○	○	○	○	○		
地域の食材を使用した調理・行事食		○			○		○
五大栄養素とそのはたらき		○	○		●	●	●
6つの食品群			○	○	○	○	○
1食分の献立を立てる・調理計画を立てる			○	○	○		○
1日分の献立を立てる					○		
ごはんを炊く	○	○					
みそ汁をつくる	○	○					
だしをとる	○	○			●		
野菜の調理	○	○	○	○	●		○
肉の調理（生鮮食品）					○		
肉の調理（加工食品）			○	○			
魚の調理（生鮮食品）					○		
魚の調理（加工食品）							●
フードマイレージや食料自給率など環境に配慮した食生活					○	○	○
自由献立							
裁縫に使用する道具の名前や使い方	○	○			●	●	
針に糸を通す	○	○	○	○		●	●
長針と短針の使い分け						●	●
手縫いの時の糸の長さ	○	○	○	○		●	
1本どり	○	○	○	○		●	●
2本どり	○	○	○	○			
玉結び	○	○	○	○		●	●
玉どめ	○	○	○	○		●	●
まち針のうち方	○	○	○	○		●	
まち針をうつ順番	○	○	○	○		○	
しるしのつけ方、できあがり線のひき方	○	○	○	○	●	●	
ものさしの見方・使い方	○	○	○	○	○		
裁ちばさみの使い方と特徴	○	○	○			●	●

並縫い	○	○	○	○		●	●
本返し縫い	○	○		○		●	●
半返し縫い	○	○		○		●	●
かがり縫い	○	○		○			●
まつり縫い						○	
ほころび直し（手縫い）						○	△
ほころび直し（ミシン）					○	○	△
二つ穴ボタン	○	○				●	△
四つ穴ボタン	○	○				●	△
足つきボタン	○	○				●	△
スナップボタン						○	△
ミシンの運び方や準備の仕方	○	○	○	○	●	●	△
カバーの置き場所					○	○	△
コントローラーの使い方や置く位置	○	○	○	○	●	●	△
ミシン針をつける	○	○	○	○		●	△
下糸を準備する	○	○	○	○	●	●	△
上糸をかける	○	○	○	○	●	●	△
下糸を引き出す	○	○	○	○	●	●	△
直線縫い（ミシン）	○	○	○	○	●	●	△
返し縫い（ミシン）	○	○	○	○	●	●	△
方向転換をして角を縫う（ミシン）	○	○	○	○	●	△	△
布を用いた製作	○	○	○	○	○	○	○
アイロンの使い方・かけ方	○	○	○	○		●	
衣服の保健衛生上のはたらき			○	○		●	
衣服の生活活動上のはたらき			○	○		●	
衣服の社会生活上のはたらき			○	○		○	
暑さや寒さに応じた衣服の工夫			○	○			
自分らしさと目的に応じた衣服のコーディネート			○	○		○	
環境に配慮した衣生活の工夫			○	○		○	
身の回りの掃除	○	○					
和服・洋服の構成						○	
和服の着方						○	
既制服の選び方						○	
胸囲・胴囲・腰囲の位置と測り方						○	
サイズ表示						○	
組成表示						○	
取り扱い表示			○	○		●	
表示者名の表示						○	
原産国表示						○	
手洗いによる部分洗い			○	○			

ブラシかけ						○	
しみぬき						○	
洗濯機洗いの方法				○		○	
衣服の素材による手入れの方法や工夫			○	○		○	
繊維の種類						○	
クリーニング店の利用（ドライクリーニング）						○	
洗濯用洗剤の種類と量				○		○	
衣服の収納・保管				○		●	

## 家庭科における話し合いや実習の基本的な方法

### 話し合い活動や簡単な実験・実習

中村小… 生活班の4～6名で行う。班の中で順番に意見を発表していき、班での意見をまとめる。

中村西小…生活班の3～4名での活動。一人一人が考える時間をとったあと、意見を言い合い、班での意見をまとめる。

中村中… 基本は座席の近い3～4名でひと班、内容によっては6名前後の生活班での活動もある。司会をたて、全員が発言できるように進行し、発表者を決めて発表する。できるだけ発表者は毎回変わるようにする。

### 調理

中村小… 生活班の5名程度で行う。調理台が8台あるので、クラスによって人数を合わせている。調理実習の前に、調理用具の使い方、手順などを1時間ほどで確認する。班の中で、番号を決め全員で手順を分担して行う。掃除、後片付けは班全員が協力して行い、チェックカードにチェックをしていく。全てにチェックをし終わったら、教員を呼んでチェックを行う。

中村西小…生活班の3～4名で行う。1班に1つ調理台とコンロが設けられている。調理の学習の前に調理用具の使い方や手順などを1時間ほどで確認する。掃除と後片付けは班の全員で協力して行い、終わったら教員を呼んでチェックを行う。

中村中… 教室での座席で区切った4名前後でひと班。調理台に合わせて8班編成になるよう調整する。調理の学習の前に、調理室の使い方や調理実習の方法についての説明を1時間とる。掃除当番は「ガス台」「調理台・床」「流し」「掃除リーダー」の4つに分け、毎回班の中で分担を変える。リーダーがチェックカードを用いて作業完了の点検を行い、教員に提出をしてダブルチェックを行う。

### 布を用いた製作

中村小… 家庭科室の二人掛けの机に座って行う。内容にもよるが、ミシンは2人で一台を使用する。持ち運びは、ミシンの下を持ち、必ず2で行う。カバーは机の下に置く。ミシンのコードは、折りたたんで収納スペースに納める。班に一つごみ箱を用意し、最後は机の整頓・ごみ拾いを班で協力して行い、教員のチェックを受ける。

中村西小…家庭科室の三人掛けの机に2人が座って行う。ミシンは2人で一台を使用する。持ち運びは1人で持ち運んでよいが必ず下を持ち、カバーはいすの下にしまうようにしている。ミシンのコードは、折りたたんで収納スペースに納める。授業の最後に片付けの時間を取り、家庭科室全体を全員で掃除する。

中村中… 教室の座席で区切った4名前後でひと班。作業台は最大10台。「掃除リーダー」をつくり、座席で順番を指定し毎時間交代する。その日のリーダーは、作業前に班のごみ箱セット、片付けの声かけ・チェック、教員のダブルチェック申し出、班のごみ捨てが担当になる。その他の班員は、座席で順番を指定して、班員の製作物やワークシートを回収し提出する。

その他共通しているのは、ミシンは1人で持ち運んでよいが必ず下を両手で持つこと、カバーは作業台の下にしまうこと、フットコントローラーは上履きを脱いで使用すること、ミシンのコード類は結んだりフットコントローラーに巻き付けたりせず、折りたたんで収納スペースに納めること、ミシンを収納台に置くときは、地震等での落下防止のため丸い脚が見えない様な向きで置くこと。